

## 【はじめに】

この度は、このような機会をいただき日本サイトメトリー学会関係者の皆様に感謝申し上げます。私は株式会社 LSI メディエンスの社員として、神戸市立医療センター中央市民病院血液検査室に勤務しています。神戸市立医療センター中央市民病院は、地域の基幹病院として高度な医療を提供しており、造血器腫瘍においても様々な症例が集まり、即日診断・即日治療が行われています。フローサイトメトリー検査は細胞遺伝子検査室で行っていますが、血液検査室としてフローサイトメトリーの結果を判読できることは検査室間の連携にとって必須であると考えています。そして、結果の解釈に関して日々フローサイトメトリーのプロフェッショナルからご指導をいただける環境であることに感謝しております。

## 【受験に至った経緯】

2023 年度の検査血液学会に参加した際、講演の合間に試験の案内が目に入りました。とりあえず、学会会場で「スタンダードフローサイトメトリー第2版」(医歯薬出版)を買っておけば受ける気持ちが揺らがないだろうと思い、勢いで本を購入しました。試験まで4ヶ月もない状態なのですぐに勉強の計画を立てました。

## 【勉強方法】

- ① 「スタンダードフローサイトメトリー第2版」を完全に理解する  
まず1周目：読んで理解できないところは検索し、それでも理解できない部分は師匠に教えてもらう。理解できるまでじっくり時間をかける。2周目：サクサク読む。3周目：大事なところはほぼ暗記できるように。4周目(試験直前)：本の内容は“完コピ”状態に。
- ② 師匠による研修  
抗体パネルの組み方、ゲーティング、結果の判読について
- ③ メーカー資料
- ④ チャレンジ認定試験(サイトメトリー学会 HP 参照)  
まず勉強していない状態で1回目、実力確認&重点的に勉強が必要な部分を確認。その後は定期的に、満点を維持できるまで解く。
- ⑤ 認定サイトメトリー技術者筆記試験到達目標(サイトメトリー学会 HP 参照)
- ⑥ YouTube の活用

【試験当日】講習会はすべて興味深く、集中して聞いてしまいます。大変勉強になりましたが、試験の前には集中力が切れていました。こんなに長時間集中して座学をしたのは久しぶりでしょう。体力と気力が限界状態で試験に突入したので、そのあたりの作戦は立てておいた方がいいかと思います。ただし、試験対策をしっかりしていれば大丈夫だと思います。

この体験記が多少なりとも今後受験される方々の参考になれば幸いです。